

県営公園

愛・地球博記念公園



- 所在地 長久手市茨ヶ廻間
- 計画面積 194.2ha
- 供用面積 151.5ha
- 交通 愛知高速交通東部丘陵線（リニモ）
「愛・地球博記念公園」下車すぐ

県営公園

愛・地球博記念公園（愛称:モリコロパーク）は、昭和45年に開園した愛知青少年公園を前身に、2005年日本国際博覧会会場として利用されたのを契機に、博覧会の理念と成果を継承する都市公園として整備を進めています。

平成22年10月には、「交流」と「環境」をテーマに市民参加・交流活動の拠点となる本公園の中心施設、「地球市民交流センター」がオープンしました。

この地球市民交流センターには、体験学習室、多目的室、多目的スタジオなど、各種活動内容に応じた部屋が整備されています。また、NPO等と協働して、各種体験プログラムの提供も行われています。



地球市民交流センター



大観覧車



大芝生広場、お花畑



あいちサトラポ

地球市民交流センター以外では、アイススケート場、日本庭園、サツキとメイの家、愛・地球博記念館、愛知県児童総合センター、もりの学舎、大観覧車、多目的広場、野球場、多目的球技場、テニスコート、サイクリングコースなどの施設が整備されています。また、万博当時に多くの方が歩かれたグローバルループの一部がそのまま残され、実際に見て歩くことができます。

平成25年にはあいちサトラポが一部オープンし、公園の楽しみに農の取組も加わりました。

休日には、魅力的で多彩なイベントが開催されるなど、多くの人に活用され親しまれる公園となっています。また、公園内にジブリパークを整備する構想を現在進めています。

<公園マネジメント会議>

「公園マネジメント会議」は、市民（NPO等市民団体、企業、大学等）と行政のパートナーシップにより運営する会議体で、公園利用者の満足度向上等を目的に、利用者の目線で公園の管理運営を行う協議・実践の場です。各会員が有する技術・ノウハウやつながりを結集して、例えば、公園の新しい楽しみ方を創造したり、公園と周辺地域・企業や大学等との連携を模索・実践したりしています。

平成30年度は、83団体で構成しており、これまでの会議で提言された事柄を具体的に企画し実行する16の分科会が活動しています。



公園マネジメント会議

案内図



配置図



東三河ふるさと公園

東三河の自然や歴史を活かした公園です。散策路では森の中の山歩きが楽しめ、山頂の展望ツツジ園からは三河湾周辺の景色が一望できます。子供に人気の東三河あそび宿のほか、三河郷土の谷、三河山野草園、ピクニック園地、修景庭園、憩いの広場など、ふるさとの景色を取り入れた公園となっています。

- 所在地 豊川市御油町、国府町、御津町
- 計画面積 174.8ha
- 供用面積 124.3ha
- 交通 名鉄名古屋本線国府駅下車
徒歩25分

現況



修景庭園

案内図



配置図



散策路

油ヶ淵水辺公園

油ヶ淵水辺公園は、愛知県で唯一の天然湖沼であり広々とした水面を持つ油ヶ淵とその周辺を含めた区域に、県営都市公園として碧南市側の水生花園、安城市側の自然ふれあい生態園の一部を平成30年度に開園しました。公園が、自然とのふれあいの場、憩いの場及び市民の協働の場となり、愛着のもてる場所となるように、引き続き整備を進めています。

- 所在地 碧南市、安城市
- 計画面積 139.9ha
- 供用面積 6.9ha
- 交通 名鉄三河線「北新川」駅より
東南へ2km

現況



水生花園（碧南市側）

案内図



配置図

